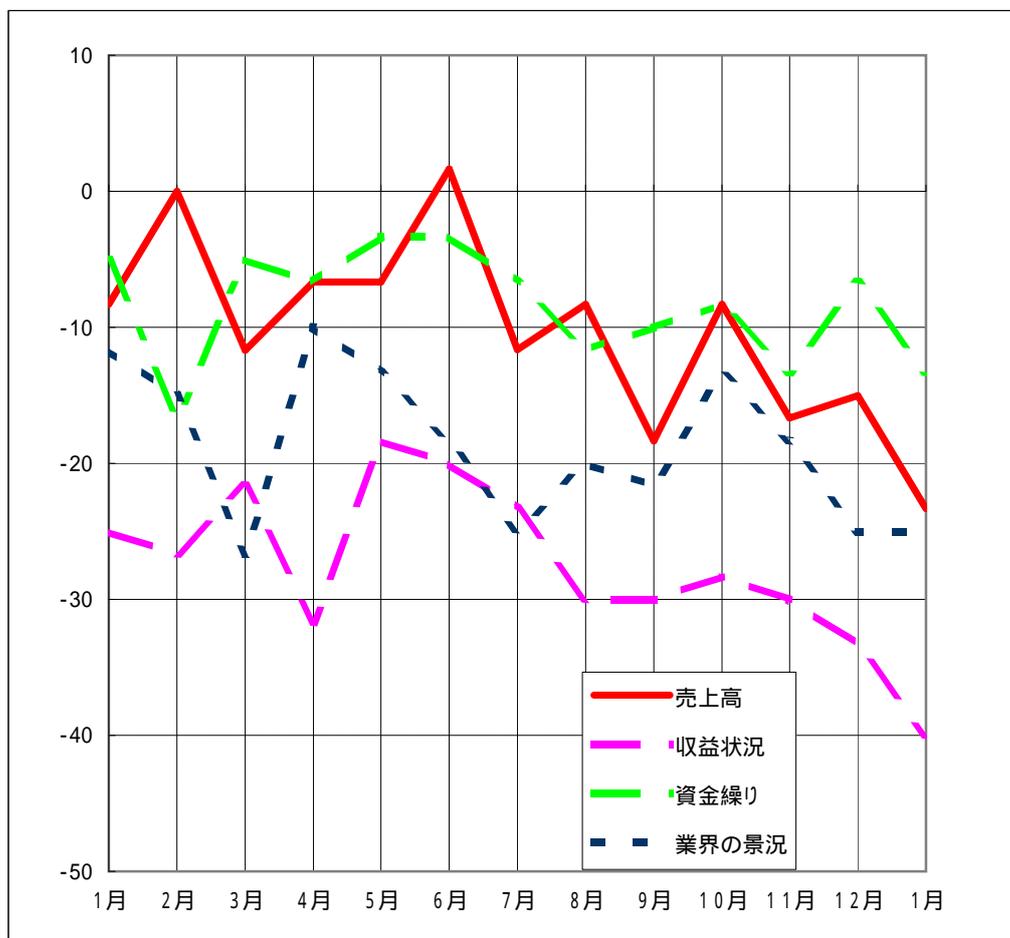


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成18年1月～平成19年1月

単位:ポイント



H18

H19

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
売上高	-8.3	0.0	-11.7	-6.7	-6.7	1.7	-11.7	-8.3	-18.3	-8.3	-16.7	-15.0	-23.3
収益状況	-25.0	-26.7	-21.7	-31.7	-18.3	-20.0	-23.3	-30.0	-30.0	-28.3	-30.0	-33.3	-40.0
資金繰り	-5.0	-16.7	-5.0	-6.7	-3.3	-3.3	-6.7	-11.7	-10.0	-8.3	-13.3	-6.7	-13.3
業界の景況	-11.7	-15.0	-26.7	-10.0	-13.3	-18.3	-25.0	-20.0	-21.7	-13.3	-18.3	-25.0	-25.0

1月のDI値をみると、前年同月より全項目で悪化した。「売上高」DIは前年同月より15.0ポイントの悪化で、マイナス20%台に推移した。「収益状況」DIにおいても、15.0ポイントの悪化で、マイナス40.0に推移。「資金繰り」DIは、8.3ポイントの悪化で、マイナス10%台に推移した。「業界の景況」DIは前年同月より13.3ポイント悪化し、マイナス25.0に推移した。ここ3カ月の景況は、「売上高」「資金繰り」「業界の景況」では一進一退に推移するものの、「収益状況」で下降傾向を辿っている。

組合の特記事項からは、製造業では、企業間格差はあるものの、「繊維・同製品」「鉄鋼・金属」等の一部で堅調な受注があるとの報告がある。しかし、他の多くの製造業では、依然続いている原材料費の高値推移、原油価格の高騰による影響等で厳しいとする報告が多い。

非製造業では、新年に入り暖冬少雪の影響が顕著に現れ、上記項目の全てで製造業に比べ悪化の度合いが大きいという結果となった。

新潟県内の中小企業の景況は、原材料価格の高騰に加え天候に左右され、厳しい状況となっている。